

憲法しんぶん 速報版
発行 憲法改憲阻止各界連絡会議 (憲法会議)
Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp TEL03-3261-9007
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp FAX03-3261-5453

2022年8月25日(木)
NO. 1300号
本号3頁

内閣支持率 16 ポイント急落 36% 発足以降で最低 毎日新聞世論調査

毎日新聞と社会調査研究センターは20、21の両日、全国世論調査を実施しました。岸田内閣の支持率は36%で、7月16、17日の前回調査の52%から16ポイント下落しました。昨年10月の内閣発足以降で最低となりました。不支持率は54%で前回(37%)より17ポイント増加しました。

岸田首相は8月10日に内閣改造と自民党役員人事を実施しました。内閣改造後の調査で、支持率が改造前より低下するのは異例です。今回の内閣改造と自民党役員人事については「評価しない」との回答が68%に上り、「評価する」は19%にとどまり、「関心がない」は13%でした。

9割が自民党と旧統一協会の関係に「問題があった」と回答

第2次岸田改造内閣で副大臣・政務官に任命された計54人のうち、約4割にあたる23人が「世界平和統一家庭連合(旧統一教会)」側と接点を持っていたことが明らかになり、さらに大臣では7人ですので、半数近くが接点を持っていたとなり、いかに自民党と旧統一協会がすごい結びつきだったことが明らかになっています。

毎日の世論調査で、自民党と世界平和統一家庭連合(旧統一協会)の関係に問題があったと思うかとの問いでは、「極めて問題があったと思う」が64%、「ある程度問題があったと思う」が23%で、合わせて9割弱が「問題があった」と答えました。「それほど問題があったとは思わない」は7%、「全く問題があったとは思わない」は4%で、問題がなかったとの回答は合わせて1割強でした。自民党支持層でも、7割超が「問題があった」と回答。内閣支持率の急落は、閣僚ら政務三役や党役員と旧統一教会との関係が相次いで表面化したことが影響したとみられるとしています。

政治家は旧統一教会との関係を絶つべきだと思うかと尋ねたところ、「関係を絶つべきだ」は86%に上り、「関係を絶つ必要はない」は7%だった。自民党支持層でも「絶つべきだ」は77%で、「絶つ必要はない」の12%を大きく上回りました。

なお、政党支持率は、自民党は29%で前回の34%から5ポイント減。その他の政党は、日本維新の会13%(前回15%)▽立憲民主党10%(同8%)▽共産党5%(同3%)▽参政党4%(同4%)▽国民民主党4%(同3%)▽れいわ新選組4%(同5%)▽公明党2%(同4%)——などで、「支持政党はない」と答えた無党派層は25%(同20%)でした。

自民党5ポイント、維新の会は2ポイント減らし、公明党も2%減らし支持率そのものが2%で、「与党派」には厳しい結果です。一方で、立憲と共産党が2ポイントずつ増やしています。

産経新聞社・FNNでは8.1ポイント減

産経新聞社とFNN(フジニュースネットワーク)は20、21両日に合同世論調査を実施。岸田文雄内閣の支持率は54.3%で、前回調査(7月23、24日両日)から8.1ポイント下落しました。昨年10月の政権発足以降最低で初めて60%を下回りました。不支持率は前回比9.4ポイント増の40.3%でした。

世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と閣僚や議員らとの関わりについて、関係が指摘された閣僚らの説明が「納得できない」との回答が81.2%に上った一方で、「納得できる」は11.1%でした。岸田首相の旧統一教会に関する対応では「評価しない」が54.1%で、「評価する」の38.6%を上回りました。

今月 10 日の内閣改造を「評価しない」は 50.0%に上り、「評価する」は 34.5%にとどまりました。また、安倍晋三元首相の葬儀を政府が「国葬」(国葬儀)として行うことについて尋ねたところ、51.1%が「反対」と回答し、「賛成」の 40.8%を上回りました。

安倍元首相の後継者 1 位の萩生田政調会長

講演での「一緒に日本を神の国にしましょう」一発アウト!!

自民党の萩生田光一政調会長と旧統一教会の“ズブズブ関係”に注目が集まっています。「週刊新潮」が、参院選で東京選挙区から出馬した生稲晃子参院議員を伴い、6月に都内の旧統一教会施設を訪問したと報じました。生稲氏は「呼ばれたので伺った」「(旧統一教会系の)施設とは知らなかった」と釈明しましたが、現場の建物には堂々と旧統一教会系列とわかる案内が記されており、「知らなかった」という理由には無理があるのではという声も上がっています。

ともかく、「新人議員の生稲氏が萩生田氏の誘いを断れるはずもない。やはりこの問題の主人公は萩生田氏で間違いない」と批判が高まっています。

その萩生田氏ですが、旧統一教会との“関係”についての言い訳が微妙に変節しています。

- ① 当初は「特別、承知の上でお付き合いをしているというのではなく、地元の皆さんの中にそういう関係者がいたのかもしれない」とまるで“人ごと”のように語っていました。
- ② それが 8 月 18 日に党本部で取材に応じた同氏は教団について「かつての社会的な問題については、今そういうことはないという認識をしていた」と述懐。続けて「安倍総理が殺害され、山上容疑者の発言から、教会がクローズアップされ、いまだいろんなことで苦しんでいる方がいらっしゃる。少し思いが足りなかったと反省をしている」としながらも、教団との関係解消については「適切な対応をしていきたいと思っています」と語りました。

これに対して、「新潮では『萩生田さんは家族同然』と語る統一教会関係者の証言も掲載された。萩生田さんは問題発覚後、保身に走り、教団側を突き放すような説明に終始。これに信者から『あんまりじゃないか!』と反発の声が上がっている。それを聞きつけ、18日の取材ではややトーンダウンしたのだろう。裏を返せば、それだけズブズブということ」と批判が上がっています。

そんななか、ジャーナリストの有田芳生氏の口から注目の発言が飛び出しました。萩生田氏が釈明したのと同じ 18 日、立憲民主党の旧統一教会被害対策本部会議に出席した有田氏は、一部メディアの取材に萩生田氏と教団の関係について「30年間関わっている」と明かにしたのです。有田氏によれば「1991年に萩生田さんが八王子市議になった時から、教団と親しかった。30年間関わっていたと。(それで)信者たちが怒って言い始めているんです」と、さらに自民党の山谷えり子元国家公安委員長、下村博文元文科相を名指しし「(2人は)1番(旧統一教会と)関わりがあるわけで。萩生田さんはこの程度で逃げ出しちゃダメですよ」と意味深に語ったのです。

さらに、自民党が野党だった 2009 年から 2012 年、落選中だった萩生田氏が、頻繁に旧統一教会の「教会」を訪れ、講演をおこなっていたと報じられていますが、講演の前には、萩生田氏は文鮮明氏と韓鶴子氏の写真に向かって敬礼。そして「自民党が政権を取らないと、日本が滅ぶ」といった内容の、教会長の発言に便乗する形で「日本の未来がかかっているから、死ぬ気で自民党を復活させてほしい」さらには「一緒に日本を神の国にしましょう」などと発言したと報じられました。これは大問題です。

先日一部週刊誌が、安倍元首相の後継者にふさわしい人物は誰か?というアンケートを行い、萩生田さんが高市早苗さんや菅義偉さんを抑えて 1 位でした。本人は上機嫌だったようですが、このままでは“ポスト安倍”どころか、首元がお寒くなりそうです。

古賀誠氏、憲法 9 条堅持訴え「自衛隊明記の必要ない」

元自民党幹事長の古賀誠さん(82)が 20 日、福岡県大牟田市で講演し「日本が戦後 77 年戦争に巻き込まれなかったことは事実。憲法 9 条を手放してはいけない」と持論の 9 条堅持を訴えました。

古賀さんは出征した父がフィリピンのレイテ島で戦死しており、「憲法九条は世界遺産」の著書があります。講演は市民団体「大牟田の空襲を記録する会」の設立 50 周年記念事業で、自民党議員や護憲派の九条の会メンバーなど約 270 人が参加しました。

自民は 9 条に自衛隊を明記する改憲案を提起していますが、古賀さんは日中戦争と太平洋戦争で日本人約 310 万人が亡くなったことに触れ、「たくさんの涙があって 9 条がある。(亡くなった)安倍元首相は『自衛隊を明記しても何も変わらない』と言ったが、変わらないなら書く必要はない。抑止力で一番強いのが 9 条だ」と述べました。

参加した古賀さんの後継者で衆院福岡 7 区（大牟田市など）選出の藤丸敏・副内閣相は「9 条は手をつけず、自衛隊は内閣の職務を定めた 73 条に明記することを党内で提案していく」と話しました。

各地のとくみ

大阪 アベ国葬反対 おおさか総がかり 19 日行動

◇サイレントスタンディング in 京橋に 60 名

思想・良心の自由奪うな「安倍国葬はやめろ」、「憲法改悪反対」

おおさか総がかり行動実行委員会は 19 日 18 時より京橋駅周辺でスタンディング行動を行いました。60 名が参加し、横断幕や「私の税金使わんといて」「国会で説明もしないなんておかしいやん」など思いのこもったポテッカーを掲げました。通勤、通学、買い物で賑わう駅周辺、人々の視線をたくさん集め、「署名はないんですか」と自ら希望して署名する方もいました。

◇泉南市九条の会 19 日行動

戦争法強行以来、毎月 19 日に定例でおこなっているスタンディングを、8 月 19 日午前 11 時からスーパーエバグリーン前で行い 16 名が参加しました。「9 条改憲 NO!」「なくそう核兵器」「ロシアのウクライナ侵略に抗議します」「平和でこそ商売繁盛 戦争法廃止」などのプラカードや横断幕をかかげ通行する車や人にサイレントスタンディングでアピール。信号待ちのドライバー、通りかかった自転車など多くの方が注目していました。

新潟 70 人の参加で 8 月 18 日 夕方、「怒りの 19 日行動」に取り組む

9 条改憲 NO! 全国市民アクション@新潟は新潟駅前前で 70 人の参加で 8 月 18 日 夕方、「怒りの 19 日行動」に取り組む、プラカードや横断幕を掲げて、帰宅する市民らにアピールしました。

5 人の弁士が安倍元首相の国葬反対、改憲・大軍拡を許すなど訴えました。新潟県憲法会議の山口茂事務局次長もマイクを握りました。「岸田首相は、銃弾に倒れた安部元首相の遺志を継ぎ、『9 条への自衛隊明記』を表明している」「そして、安倍元首相の国葬を強行して、安倍氏を『国民的英雄』に仕立て上げ、改憲への跳躍台にしようとしている」「米のペロン下院議長が台湾を訪問、中国は対抗して大規模な軍事演習を実施した」岸田政権は『台湾有事』が起これば日本も巻き込まれ、日本にミサイルが飛んでくる。これへ備えるために自衛隊をはっきり『合憲化』して、鹿児島島から南の南西諸島への自衛隊ミサイル基地建設の推進等、日本の防衛力を強化しなければならない」と強調しました。山口さんは「台湾有事」にかこつけた中国脅威論の意図を指摘し、最後に「このように 9 条改憲はまさに『戦争への道』です。道はすでに作られつつあります。岸田内閣の『改憲発議』そのものを阻止するため、日米軍事一体化をさらに告発して運動を強めましょう」と訴えました。

私たちは参院選挙の結果を受けて、秋からの「9 条改憲阻止」の闘いを準備する学習・講演会を計画しています。

・8 月 27 日（土）新潟県憲法会議・主催 「自民党 9 条改憲案学習会」

「9 条への自衛隊明記」は結局、戦争への道 講師 山口茂さん（新潟県憲法会議事務局次長）

・9 月 19 日（月・敬老の日）9 条改憲 NO! 全国市民アクション@新潟・主催

講演「改憲は阻止できる いまこそ市民の大運動を」 講師 渡辺治さん（一橋大学名誉教授）

YouTube 配信

〈新潟県憲法会議 事務局長 酢山省三〉

